



わかさ

平成24年 5月

議会だより

第140号

P.2・3

H24年度
当初予算可決!

P.6~

一般質問 Q&A

P.12・13

3月定例会提出議案

P.16

わたしの想い (椿さん、三島さん)

※議会報告会日程及び議会基本条例検証



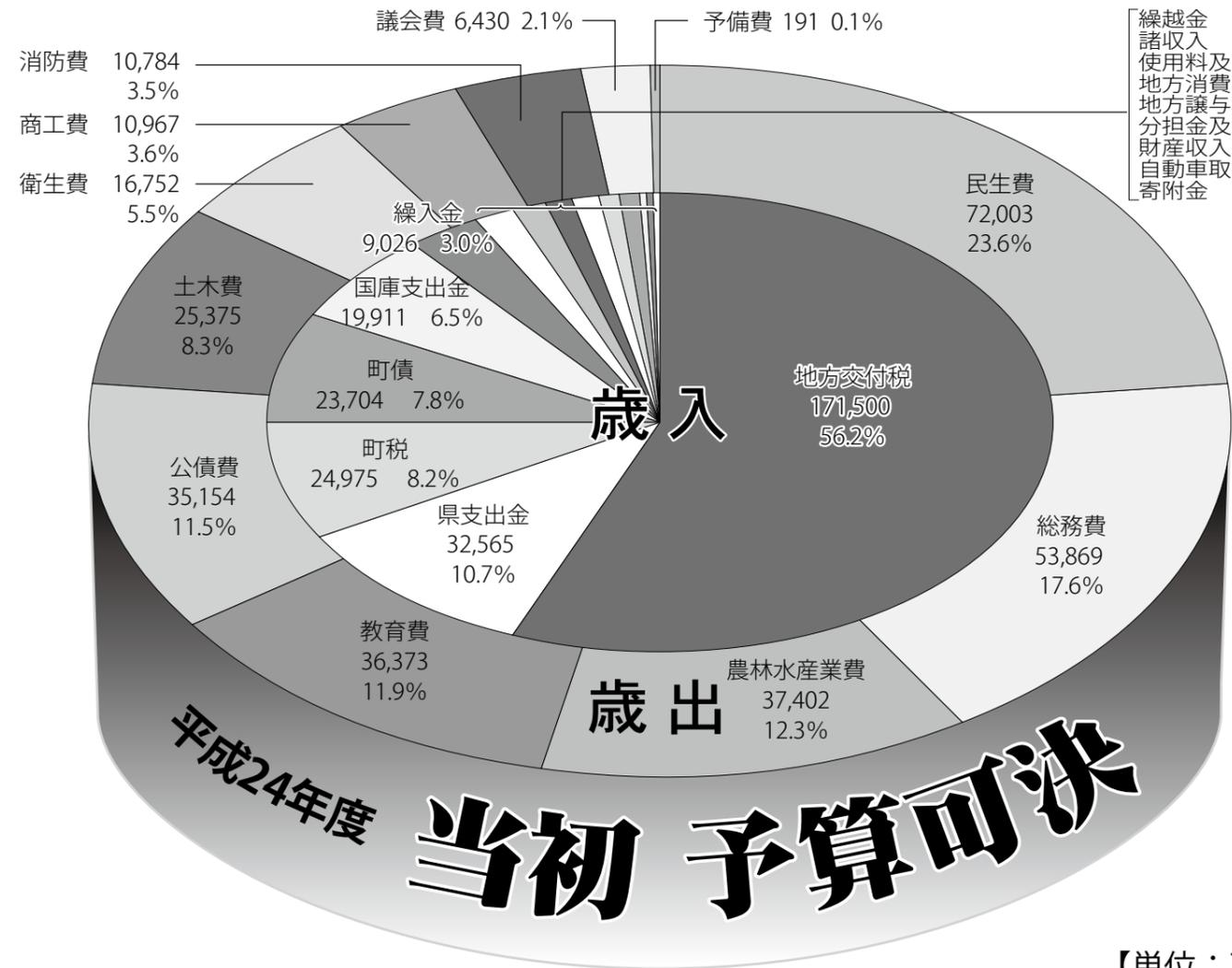
議会事務局のアドレスへ

写真：放水、はじめ！（消防出初式）



主なる意見を説明する委員長

消防費	非常備消防費（消防車両購入等）… 3,049万円 防災行政無線事業… 359万円 災害対策事業… 317万円
商工費	氷ノ山集客促進事業… 3,143万円 商工振興事業… 2,945万円 観光事業費… 1,770万円
衛生費	塵芥処理対策事業… 6,428万円 予防費（インフルエンザ・定期予防接種等）… 1,188万円
土木費	町道新設改良事業… 4,833万円 道路維持費… 2,418万円 町営住宅管理事業… 891万円



【単位：万円】

繰越金	5,405	1.8%
諸収入	3,946	1.3%
使用料及び手数料	3,683	1.2%
地方消費税交付金	3,094	1.0%
地方譲与税	2,577	0.8%
分担金及び負担金	2,476	0.8%
財産収入	1,430	0.5%
自動車取得税交付金	591	0.2%
寄附金	226	0.1%

議員全員で構成する「予算審査特別委員会」を設置し、平成24年3月14日から5日間にわたり、審査しました。

委員長 坂本 等
副委員長 山本晴隆

民生費	特別医療費支給事業… 3,037万円 長寿社会づくりソフト事業… 648万円 シルバー人材センター運営補助事業… 68万円
総務費	若桜鉄道対策事業… 6,467万円 バス運行事業… 2,516万円 移住定住促進事業… 841万円 自治会等振興事業（村づくり交付金等）… 340万円
農林水産業費	有害鳥獣駆除対策（獣肉処理施設設置費等）… 3,935万円 森林整備事業… 3,024万円 緑の産業再生プロジェクト事業… 1,400万円
教育費	小学校管理費（校舎解体事業等）… 9,656万円 その他体育施設管理（旧若桜小学校体育館）… 2,969万円 公民館管理費… 1,284万円 適応指導教室運営事業… 125万円

一般会計 30億5,300万円

前年度比 ▲1億7,500万円 (5.4%減)

予算審査の主な意見

一般会計 歳入について

町税等
町税等の徴収には、かなりの成果が伺えるが、公平性と財源確保のために更なる努力をされたい。

歳出について

総務費
若桜鉄道協力会のあり方を見直し、利用促進のために自治会や各種団体に協力して頂く努力をされたい。

民生費
バス運行事業は、利用調査の結果をもとに、よりよい運行になるよう、検討されたい。

衛生費
ストックヤード建設にあたっては、旧塵芥処理場周辺全体の有効利用について検討されたい。

農業費
獣肉処理施設の建設場所は、環境に配慮されたい。また、規模・運営・ランニングコスト等について精査し実施されたい。

特産品開発の諸事業が計画されているが、あわせて販路拡充も図られたい。

農業指導専門員は、単なるアドバイザーでなく、農業振興につながる事業に取り組んで頂きたい。

林業費
緊急雇用事業は、将来につながる技術習得のために、単町費でも続けられたい。

林業費
林業新制度は、山林所有者全体が森林経営計画に参画する必要がある。森林組合と連携し、徹底した指導をされたい。

商工費
まちづくりは、拠点的な整備だけでなく、全町的に将来構想を策定し、一体的に取り組まれたい。

若桜町観光開発事業団への指定管理委託料支払いについては、慎重に執行されたい。

土木費
町営住宅の改修は、新築を含めた改修計画を明確にされたい。

消防費
自主防災のため、自警団が結成されていない集落の対策を検討されたい。

教育費
不登校は、子どもの将来に多大な影響を及ぼす事になる。早急に対策を講じられたい。

特別会計

国民健康保険事業・介護保険事業

- 病气予防・介護予防は、日々の体力づくり、健康維持が必要である。町民への啓発・指導をされたい。

赤松団地造成事業

- 赤松団地の販売促進については、移住定住政策のためにもプレミアを付すなど検討されたい。

索道事業

- 若桜町観光開発事業団の営業報告により、氷ノ山開連施設の運営状況を把握され、指導されたい。

予算審査 Q & A



児童のいなくなった旧小学校

Q 合併処理浄化槽の事業推進はしているのか。

A こんには移動町長室や行政懇談会で事業説明をしている。

Q 農業専門員の仕事は、何を
するのか。

A JAに営農指導員がいないので、農業普及所の退職者を考えている。仕事の範囲は、検討したい。

Q 24年度に、移動販売車の運行を検討されているが、逆に町営バス利用者が減るのでは。

A 議会とも協議しながら、中味を検討していきたい。



婚活の会場となったブルートレイン

Q 結婚推進事業の結果をもとに、
追跡調査をしていく必要があるのでは。

A アンケートの結果を踏まえ、実行委員会
で検討し、東部四町で協議したい。

Q 若桜小学校体育館の
利用計画は。

A 中学校テニスが利用する。各種大会
の利用が想定される。また、舞台がある
ので、様々な利用法も考えている。

Q 校舎を壊した跡の
将来プランは。

A 新年度に校舎を解体し、H25年度に給食
センターを若桜学園敷地内に建設する。
給食センター解体と合わせて、跡地利用
を検討する。

Q 若桜小学校解体については、
モニタリング的に残せないか。

A 解体工事は、補助対象になっている。
耐震強度も低く、解体することが適当
と思う。

Q 水源地タンクの管理や、
貯水槽は、どれくらいの
周期で清掃しているのか。

A 町の直接管理で保健所が毎年検査し、
指摘は受けていない。定期的に行い、
濁水の情報で、泥を清掃している。

Q 国民健康保険税はどうなる。

A 一般会計からの繰出金が増えている。
国民健康保険運営審議会に諮らないと
いけない。
介護保険料増額で、両方上げるのは大
変だと思っている。

Q 介護保険料の大幅引き上げ
に伴い、広報を徹底しないと
反響が大きいのでは。

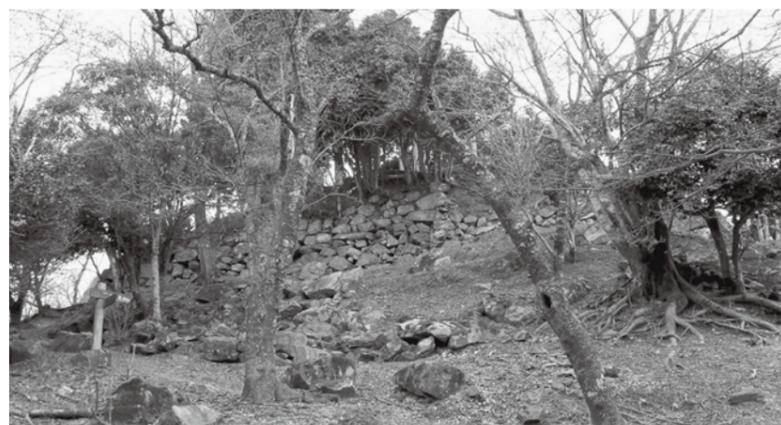
A 30%引き上げになるが、4月には大々
的に広報したい。

Q IP告知端末の
アンケート結果は。

A 「テレビ電話を設置してよかった」92
%。「テレビ電話を利用していい」49%。
「利用していない」11%。「使い方を教
えてほしい」が24%あった。

Q 鬼ヶ城の保存管理計画での、
遊歩道整備・駐車場周辺の
トイレ設置等、具体的な
本年度の取組みは。

A 管理団体はできていないが、草刈り等
は引き続き行い、トイレ設置は今後検
討したい。景観的にも、史跡が駅から
見えるように樹木伐採を計画したい
が、申請許可が必要である。



整備の待たれる鬼ヶ城跡

Q 特定検診の受診率が落ちて
いる。
国保加入者全員が受診する
ような手立ては。

A 受診率が増えるよう、人間ドックの人
数を増やしている。24年度は休日検診
を1日増やして、実施を考えている。



進みつつあるLED事業

Q LED事業の予約状況と、
替えて良かったという
情報はあるか。

A 自治会長会で申し込みを募り、8件予
約がある。明るく、寿命が長く助かる
と言われている。

Q 一般質問 A

詳しくは
若桜町ホームページ→各課のご案内→議会事務局→会議録

3月議会定例会の一般質問は、3月16日に行われ、5人の議員が町政の課題について質問しました。質問の要旨と町長の答弁を要約して紹介します。

質問者
藤原 源市 議員
中尾 理明 議員
坂本 等 議員
前住 孝行 議員
上川裕見子 議員



中尾 理明 議員

Q 2月12日付新聞赤旗は、自然エネルギー100%自給自治体として40番目に若桜町(120.0%)を紹介しています。県内で全国ランキングされたのは若桜町だけです。町内の水力発電が他の自治体へ貢献しています。

A 震災以後、エネルギー政策の抜本見直しが必要となりました。再生可能エネルギーは、CO2排出が少なく、自然破壊なく、繰り返し使え、環境に配慮した町づくりを目指す本町で、積極的に取り組みたいと考えます。町として身近で可能

小林昌司町長

木質バイオマス

「自然・再生エネルギー」活用協議会を立ち上げる 活用旺盛に！

Q マス(林地残材等をボイラーで燃やした熱源をビルハウスの利用、成功した事例を紹介されました。会場では、96%を占める広大な林野をもつ若桜の林業関連事業Ⅱ木質バイオマスを利用した産業振興、熱源活用策等が話されました。福島原発事故後、注目されている小水力発電や林業副産物による木質バイオマス等自然・再生エネルギーについて、所見を伺います。



温泉プールのボイラー室視察

A 震災以後、エネルギー政策の抜本見直しが必要となりました。再生可能エネルギーは、CO2排出が少なく、自然破壊なく、繰り返し使え、環境に配慮した町づくりを目指す本町で、積極的に取り組みたいと考えます。町として身近で可能

小林昌司町長



藤原 源市 議員

Q 第9次総合計画策定に当たっては、委員任期2年間で審議するとなっており、委員会開催計画は6回予定されていたにもかかわらず、将来を構想する重要策定構想プランが3回の審議委員会で専門家を交えて策定されたのか。基本構想に「推進します」「努力します」など、表現の適合性はどうか。実施計画書を提出すべきであり、基本的な考え方をお尋ねします。

A まちづくりの将来像と基本目標を明確にうたっている計画だが、全町民には配布しないと聞

具体的事業については別途を作成して内部資料とします。本町のような財政力の弱い自治体は毎年見直して、弾力性のある計画が必要と考えます。

総合計画

計画の明確化と周知は しつかり広報していく

小林昌司町長

Q 第9次総合計画策定に当たっては、委員任期2年間で審議するとなっており、委員会開催計画は6回予定されていたにもかかわらず、将来を構想する重要策定構想プランが3回の審議委員会で専門家を交えて策定されたのか。基本構想に「推進します」「努力します」など、表現の適合性はどうか。実施計画書を提出すべきであり、基本的な考え方をお尋ねします。

構想説明は「こんにちは移動町長室」等で行なわれるとは思いますが、書面で公表すべきだと思えます。政策を生かすための方針をお尋ねします。

小林町長

A 広報わかさはもちろん、所信表明、予算編成するときはしつかりとチェックさせていただいてます。前総合計画においては、約80から90%の計画を実施しました。町民の皆さまにしつかり広報していきます。

若桜鬼ヶ城

保存管理は 審議会と推進

Q 若桜鬼ヶ城管理計画書が作成され、行政と住民が役割を果たして、整備環境検討委員会・ボランティア組織をして管理すると文化財保護審議会で決議されているが、どのような実態で、実績があるかお尋ねします。

植嶋荘司教育長

A 次の世代に継承するために、2カ年かけて策定したものです。



観光客誘致の原動力へ！

史跡の範囲が広大で地権者も大変多いことから、管理体制の構築は重要課題です。現在保存計画については審議会の助言をいただきながら着実に推進しなければならぬと考えています。

産業・観光政策

官民一体化の 規則設置は 必要としない

Q 町長は自分の初夢を未来像として町民に提唱されていますが、行政内部の連携と民間の支援サポート政策を明確にすべきと考えます。官民一体化する規則等設置すべきと考えますが、町長の見解をお尋ねします。

小林町長

A 夢を実現するのが町長の仕事であります。条例・規則は、住民の自発的活動を足止めすることになり必要ないと考えます。

果もあり、今が好機だと考えますが、町長の所見を伺います。

小林町長

A この取り組みは、若桜が一番だと県も言っておられ、力を入れます。

田村裕之産業観光課参事

林業再生のメインは木材ですが、使われていない部分材を有効活用し、町民の所得向上、町民の暮らしやすさにつなげたいというのが夢です。その一歩として、先程紹介された事業を勉強しながら進めていきたいと思えます。

※その他、「景観町づくり」「低空飛行訓練」について質問をされました。

Q 一般質問 A



前住 孝行 議員

Q 若桜大祭では、神輿を下げて電線を交わします。また、屋根の雪下ろしでも邪魔になることがあります。観光面でも、若桜のすばらしいまち並みをすっきりと見てもらいたいと思います。町長の所見を伺います。

A 中電やNTTから負担金を取って事業することになっているため、事業費が高額になり、困難だと思えます。しかしな

Q 雪下ろし補助は、豪雪対策本部が設置されたときですが、山間地の集落のことも考えてもらわないといけないなど思いますが。

A 対策本部設置前に4、5人の方から雪下ろしについての問い合わせがあったことから、私も補助の対象期間を限定しない方がより安心して暮らせることにつながると考え、新年度からは、対策本部設置期間に限らないように、支援制度の見直しを行っています。

Q 地元学生のシーズン券半減免について、教育長の所見を伺います。

A 過去3ヶ年間で、すべて小学生で、中学生による贈入はありません。毎年1枚、1件ずつです。

Q 植嶋教育長

A 地元の小中学生には、自然豊かなスキー環境を提供し、スキーの楽しさ、自然とのふれあいを通して、心身ともに健全に育ってもらおう意味でも、このような取り組みが検討できたらと考えています。

※その他、「町営駐車場の整備」「桜の名所づくりに」施政方針について」の質問をされました。

Q 香田

A 上水道設置（防火水槽の整備）を求める↓基本計画案を作成中

電線の埋設

すっきりしては？ 事業費高額で困難

がら、将来的には考える必要があるのではないかと思います。

雪下ろし補助

対策本部設置時のみ？ 支援制度の見直しを行っている

豪雪対策本部が設置されたときですが、山間地の集落のことも考えてもらわないといけないなど思いますが。

特色ある施策

地元学生のシーズン券半額へ！ 検討できたらと

過去3シーズンの若桜町内小中学生シーズン券購入件数についてお尋ねいたします。



危険を伴う屋根の雪おろし

植嶋教育長

Q 地元の小中学生には、自然豊かなスキー環境を提供し、スキーの楽しさ、自然とのふれあいを通して、心身ともに健全に育ってもらおう意味でも、このような取り組みが検討できたらと考えています。

Q 陳情の対応状況

A 氷ノ山スキー場

- ・イヌワシ・スノーピアのアクセス道↓完成
- ・駐車場からスノーピアの入り口までの歩道↓対応済み
- ・駐車場からアルパインまでの流雪溝と機械除雪↓対応済み

Q 屋堂羅

- ・屋堂羅川稗田山ノ神橋付近護岸基礎復旧↓3月末完成
- ・畑下付近の護岸の高上げ及び河床掘削、中村地区の急傾斜対策↓引き続き県に要望
- ・移動通信用鉄塔整備に伴う管理道路の町道編入↓鉄塔道路の管理道として管理

Q 一般質問 A



坂本 等 議員

Q ①林業新制度の活用には森林経営計画の作成が必須要件です。林家に出向いてひざ詰め談判するところまで踏み込んでいただけたらと思います。

A ①町職員を准フォレストラー（林業経営指導の専門家）として育成し、森林施業プランナーに助言指導を行いたいと思います。



要間伐林（吉川ヘンブ谷）

Q ②森林関連施策の方向や、伐採、造林等の森林施業に関する指針等を定めるもので、5年毎に作成する計画です。

特色のある事項3点。

- ・森林を、水源涵養、災害防止、木材の生産機能維持に仕分ける。
- ・国有林、森林総合研究所契約造林、町有林の3者が団地的に低コスト林業を検討する民国連携。

Q ①平成23年度の実績見込みと、24年度の経営方針を伺います。

A ①430万円の赤字決算です。要因は、農作業受託と雑穀の栽培事業の大幅な落ち込みが考えられます。平成24年度は経費の削減を図ること、利用権設定3haを目標にし、米作りに力を入れたいと考えます。

②人員を削減し、課長にも現場に出るよう指導しています。

Q 公金の効率運用と、支払日が毎月5、15、25日ですが、通年支払について伺います。

A 歳計現金は、町内金融機関に期日指定の定期預金へ。約16億円の基金は全て定期預金として運用。預託先は利率の入札で決めています。一時借入は、早い時点で返済しています。

支払いは、口座振替、納付書払い、窓口払いがあり、支払日を定めておく方が効率的で、町民の皆様、取引業者からも理解を得ています。

Q 役場庁舎、保健センターの耐震診断の結果、I s 値（耐震診断の基準）が0.3以下の場合、補強工事について伺います。

A 診断結果で方向性を判断したい。補強工事には3〜4億円。建て替えには5億円は必要です。

林業新制度

林家への啓発は 准フォレストラーを育成

Q 木質バイオマス資源の有効活用。

A 経営改善を 経費節減と 米作り

Q 支払日

A 通年払いに 口座振替・納付書払いを推進

Q 小林町長

A 所得金額と納税義務者が減少しており、落ち込みは避けられません。年金所得（6億円）はここ4〜5年は大きな変動は無いが、給与所得（27億円）にかなりの変動があり、前年度比5%減で積算しています。

議会委員会構成

改選

平成24年 3月10日

〈総務産業常任委員会〉

- ◎坂本 等
- 中尾 理明
- 中村 敏明
- 山本 晴隆
- 藤原 源市

所管課

総務課
企画課
産業課
税務課
財政課
観光課

〈議会運営委員会〉

- ◎川上 守
- 中尾 理明
- 坂本 等
- 奈羅尾 寿夫

〈教育民生常任委員会〉

- ◎奈羅尾 寿夫
- 川上 守
- 上川 裕見子
- 前住 孝行
- 岡本 和廣

所管課

町民福祉課
町土整備課
教育委員会事務局

〈特別委員会〉

- ・公共交通調査特別委員会…全議員
- ・氷ノ山公共施設調査特別委員会…全議員
- ・小中一貫校調査特別委員会…全議員
- ・議会だより調査特別委員会
- ◎前住孝行、○中村敏明、奈羅尾寿夫、山本晴隆

(◎委員長、○副委員長)



審査広報紙第136号

努力賞

広報コンクール表彰

第19回鳥取県町村議会

議会だより

(平成24年2月21日)

Q 一般質問 A



上川裕見子 議員

Q 酸性雨や黄砂の飛来、山の荒廃等で夕立が来ればすぐに川が濁る、住民の高齢化により水源の管理が大変になってきていることなど、自然環境や社会情勢が変化しているなか、若桜地区簡易水道の水源では、砂洗い作業が行われています。この作業が、これから先もずっと続けられるのだろうかかと心配する声があります。

小林昌司町長
A 若桜地区簡易水道の水源は4ヶ所で表流水利用水源2ヶ所、地下水利用水源2ヶ所です。表流水の利点は、水量調整でき断水の心配が少ないこと、欠点は、緩速ろ過のため砂洗いが必要で、日常の維持管理が大変なことです。地下水の利点は、安定した水質の水を安定的に供給できること、欠点は、断水の恐れがあることなどが挙げられます。

現在老朽化した施設の水源改良に向けて、三倉川で水量調査を行っており、結果を踏まえ水源問題も絡めて検討していきたいと考えています。

安全な水供給

地下水利用の方向へ 調査結果から検討を

Q 人口が少なくなると工事費の負担も大きくなります。ボーリングより機械掘りが安価で水量確保も可能なようですので、工事の内容も今から検討していただき、より安くより安全に水量を確保できる方法の研究を重ねていただきたいが、いかがですか。

小林町長
A 水道関係については、非常に遅れており、



清流とイヌフグリ

料金の問題、水源の改良など、課題解決に向け計画的に仕事をしていきたいと思えます。

Q 水には軟水と硬水があり、若桜の水は軟水でおいしいとの資料があります。氷ノ山の向こう側養父町で採取された硬度78の水が、アマゾンや楽天市場で販売されており品切れ状態です。本町も水を生業の事業として活かすことができないかお伺いします。

小林町長
A 氷ノ山の水を飲料水として販売したいとのこと、6、7社が来町されましたが、事業化するためには現在氷ノ山の湧水を利用してしている施設への影響の有無や施設の製造工場等の用地確保などの

問題をクリアしなければなりません。飲料水製造会社の誘致ができれば雇用の場も生まれますので、今後もそうしたお話があれば、積極的に取り組んでいきたいと思えます。

Q 若桜宿内のグレイチングで覆われた水路を残念がられる観光客がおります。一部区画でもモデル的に景観に配慮した水路改修をされてはいかがでしょうか。

小林町長
A 若桜宿まちづくり協議会が中心となって具体的に景観に配慮した水路がどのようなものか協議され、県や住民のご協力があったらと思います。※その他、「年末年始の公共交通対策と対応」についての質問をされました。

三月議会定例会提出議案

福祉サービス充実へ!!

条例

平成24年度第2回若桜町議会定例会は、3月8日に招集され、条例・予算・人事等、町長から提出された46議案、議員提出議案4議案を慎重審議の結果、原案どおり可決し、3月26日に閉会しました。

◆若桜町福祉事務所設置条例の制定
福祉・保健に関する行政サービス、生活保護等が本町において完結できる体制を整える条例。

◆若桜鉄道株式会社に対する町民税の課税免除に関する条例の制定

◆若桜町高齢者等交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定
吉川分校を改修した交流拠点施設の管理運営事項の定め。



にぎわう竣工式

◆若桜町索道基金条例の制定
若桜町索道事業特別会計における利益剰余金は、索道関係施設等の維持、向上を図るため、若桜町索道基金を設置し、繰り入れる。

◆若桜町暴力団排除条例の制定
町民・事業者・行政が一体となって、平穏な町民生活の確保及び社会経済活動発展のために制定する。

◆若桜町移動通信用鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正
NTTドコモ移動通信用鉄塔設置により広留野基地局開設に伴う改正。

◆若桜町営バスの管理及び運行に関する条例の一部改正
若桜学園前バス停新設に伴う改正。

◆若桜町職員の給与に関する条例の一部改正

◆若桜町使用料徴収条例の一部改正
高齢者交流拠点施設設置に伴う関係条例の改正。

◆若桜町立公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正
中原分館の名称変更と社会教育法改正に伴う改正。

◆若桜町介護保険条例の一部改正
介護保険料の引き上げ
月額 4133円
5380円

◆若桜町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
公営住宅法の改正により、町営住宅入居資格等の改正。

◆若桜町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正
女性消防団員の創設による改正。

◆地域医療と国立病院の充実を求める意見書
いつでも・どこでも・だれでも、安心して医療を受けることができる体制づくりは住民の願いです。地域医療と国立病院の充実を図るためには、必要な予算を確保し、医師・看護師等人員の確保も必要である。

- ◆ 介護保険事業 (第4号)
364万円追加し、総額5億3771万円とした。
- ◆ 後期高齢者医療 (第2号)
24万円を追加し、総額5177万円とした。
- ◆ 簡易水道事業 (第6号)
166万円を追加し、総額9144万円とした。
- ◆ 財産区造林事業 (第2号)
343万円を減額し、総額208万円とした。
- ◆ 住宅新築資金等貸付事業 (第1号)
85万円を減額し、総額134万円とした。

その他

◆第9次若桜町総合計画の策定

◆公の施設の指定管理者の指定 (地域福祉センター・ドリーミー)
社会福祉法人若桜町社会福祉協議会を指定管理者として指定する。

◆公の施設の指定管理者の指定 (若桜町氷ノ山関連施設)
財団法人若桜町観光事業団を指定管理者として指定する。

議員提出議案

◆若桜町議会委員会条例の一部改正

◆住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書
地域主権改革は、地域のことを住民が決めることではあるが、災害等の発生時には、国の出先機関は必要であり、安全・安心を確保するために、体制・機能の充実を図ること。

◆「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の法制化を求める意見書
精神医療改革、精神保健改革、家族支援の三つを軸として、国民すべてを対象とした、総合的、長期的な政策を保障する「こころの健康を守り推進する基本法(仮称)」の制定を強く求める。

人事

教育委員会委員の任命について

植島荘司委員の辞任に伴い、町長より高木政寛氏を任命することについて同意を求める議案が提出され、同意しました。
任期H24・4・2
H24・9・30



高木政寛さん (農人町)

予算

○平成24年度一般会計予算

○平成24年度特別会計予算(10事業)

○平成23年度一般会計補正予算 (第6号)

618万円を減額し、総額35億5942万円とした。

主な歳入	
地方交付税	3500万円
地方消費税交付金	▲203万円
県支出金	▲2349万円
町債	▲2910万円
主な歳出	
国民健康保険事業特別会計繰出金	1909万円
介護保険事業特別会計繰出金	211万円
観光事業費	1411万円
道路維持費	867万円
災害対策事業	▲418万円

○平成23年度特別会計補正予算

◆国民健康保険事業 (第4号)
493万円を減額し、総額5億2615万円とした。

第一回臨時会

平成24年2月29日

原案通り可決しました。

議案

工事請負契約の変更契約の締結
工事名 若桜町立小中一貫校整備工事
工事場所 若桜町大字浅井289番地
契約の相手方 鳥取市秋里335番地

八幡コーポレーション株式会社
代表取締役 玉木裕一
契約金額
変更前 264,715,500円
変更後 270,041,100円



若桜学園校章

委員会活動報告

総務産業常任委員会

1月25日 八頭中央森林組合若桜事業所・(有)若桜農林振興との意見交換

八頭中央森林組合

説明 新しい森林整備支援制度は森林経営計画を立て、森林所有者と長期委託計画を結び、施業しなくてはならない。

Q 集落への今後の啓発活動は。

A 何回も出向いて、説明しようと考えている。

Q 補助金の対象者は。

A 経営計画を立てた人が対象になる。



森林組合・農林振興事務所

(有)若桜農林振興

説明 林業部門の廃止と農業部門の受託が減り、収支は苦しい。社長自身、非常勤であり、職員の把握もむずかしい。

Q 味工房で加工品の製作をしているが、販売状況は。

A 現在、道の駅等5ヶ所に販売委託し、さらに販路開拓もしている。

Q 今後の農林振興の改革は？

A 畑作は難しく、休耕田を借り上げて水稻栽培を考えている。

3月5日 H23年度3月補正予算
H24年度予算説明

教育民生常任委員会

2月21日 第5期介護保険料の改定

町民福祉課

説明 ○介護保険料計画策定委員会
2回開催(12/1、1/31)
○高齢者人口が1,541人(39.5%)
○相談事業、保健予防事業などふれあいサロンの推進を進めていきたい。
○保険料は5,380円を計画している。

Q 施策として、予防に重点を置いては。

A 集落のサロンを充実していく。現在、吉川、中原、諸鹿の3箇所で行っているが、転倒予防にも重点を置きたい。

Q 在宅支援についての意見は。

A 24時間対応は、人員体制の問題もある。必要なことだが、現実に施設もない若桜町の状況では難しい。

3月6日 H23年度3月補正予算
H24年度予算説明

教育委員会

説明 ○若桜学園の周辺事業
(バス停、遊具、花壇等)

Q バスの回し場等は、順調にしているか。

A 積雪により、土がおさまらなくて苦慮している。遊具は、除雪をして工事をしている。繰越をお願いすることになるかもしれない。



土の収まりが待たれるバス廻し場(4/2撮影)

WAKASA

請願・陳情書審査結果

3月議会定例会において常任委員会に付託した陳情は、慎重な審査の結果、次のとおり決定しました。

番号	受理年月日	件名	陳情者等	付託委員会名	審査結果
陳情第17号	平成23年11月30日	最低保障年金制度の実施を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県本部 東部支部 支部長 市谷 尚三	教育民生 常任委員会	趣旨採択
陳情第18号	11月30日	無年金・低年金者への基礎年金 国庫負担分3.3万円の支給を 求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県本部 東部支部 支部長 市谷 尚三	教育民生 常任委員会	不採択
陳情第1号	平成24年1月11日	「こころの健康を守り推進する 基本法(仮称)」の法制化を求め る意見書提出に関する陳情書	鳥取県精神障害者家族会連 合会 会長 濃崎 智熙 八頭ひかる会 会長 田淵 眞司	教育民生 常任委員会	採択
陳情第2号	1月25日	林道糸白見線(国有林林道)の町 道併用協定締結と路面舗装につ いての陳情書	糸白見自治会 会長 藪田 薫則	総務産業 常任委員会	不採択
陳情第3号	2月20日	国民医療と国立病院の充実強化 に関する陳情書	全日本国立医療労働組合 鳥取医療センター支部 支部長 杉谷 達恵	教育民生 常任委員会	採択
陳情第4号	2月20日	住民の安全・安心を支える公務・ 公共サービスの体制・機能の充 実を求める陳情書	鳥取県国家公務員労働組合 共闘会議 議長 下田 陽司	総務産業 常任委員会	採択
陳情第5号	2月27日	障害者総合福祉法(仮称)の制定 を求める陳情	鳥取県ろうあ団体連合会 会長 荻原 耕三、他	教育民生 常任委員会	継続審査
陳情第6号	2月27日	「社会保障と税の一体改革」に反 対する意見書提出を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県東部支部 支部長 市谷 尚三	教育民生 常任委員会	不採択
陳情第7号	2月27日	公的年金の改悪(引き下げ)に反 対する意見書提出を求める陳情	全日本年金者組合 鳥取県東部支部 支部長 市谷 尚三	教育民生 常任委員会	不採択

請願 陳情

請願・陳情は、町民の皆様が町政などについての要望等を、直接議会に書面で提出できる制度です。議長宛に議会事務局へ提出してください。提出された請願・陳情は関係の常任委員会で審査の上、本会議で採決し、採択された請願・陳情は行政に生かされます。詳しくは、議会事務局(☎82-2212)にお問い合わせください。



若桜の魅力



椿 登志夫さん (西町)

若桜に来て感じた事、それは……

手つかずの大自然が沢山あり、多くの歴史と文化が住民の方々によって大切に守り続けられてきた町だということです。

わかさ氷ノ山には360度に広がる大自然

若桜の住民になつて



三島み子さん (屋堂羅)

若桜に住んで、13年目に

なりますが、住んで驚いたのは、中高年パワーの凄さと、若い人たちのおとなしさです。将来を見据え、この地で生活したいと思える町にして行くために、若者

自身の活躍を期待していません。我々、中高年は老妻心からか、つい若い人たちの冒険心を抑えがちになります。失敗した時に我々、年長者が力を貸してあげればよいと思います。

さて、この春から小中一貫校が開校されました。子どもたちは新校舎での生活を楽しみにしております。しかし、全国では、子どもたちが被害に遭う事件・事故が多発

している中、保護者にとつては通学路等に不安があります。ドラマのセリフではありませんが「事件は現場で起きています」のです。机の上での取り組みでなく、通学路を歩いて見て、道路の整備や危険箇所の対策を行い、子どもたちが安心して、子どもたちが送れるようにお願いしたいと思います。

のパンoramaやアクティビティ施設が沢山あり、鬼ヶ城には

宿場町を見おろす眺めや破城した石垣がそのまま残されています。弁天さんでは「境内

は幽邃閑雅にして、この地を踏めば靈気に触れ、心身自ら澄み、靈妙なる神徳に帰する」といわれるとおり神秘的な空間が残され、平経盛隠棲の洞窟では、幾重にも重なり合う

洞穴に経盛が隠れすんだという伝説を醸し出しています。また、宿内を散策すれば、

また、宿内を散策すれば、

カリヤ通りの水路を流れる水の音や、C12型蒸気機関車の汽笛の音が山々に響きわたる音は、若桜でしか聞けないBGMだと思えます。

現在、旅行スタイルも多様化し、自然や歴史を訪ねる旅行が多くなっています。

そして、若桜には旅行者の求める観光素材が沢山あります。この魅力ある素材を活かしたプランを作成し、多くの方々に来ていただくように今後も努めていきたいと思えます。

意見をお寄せください

メール : gikai@town.wakasa.tottori.jp

FAX : 0858 (82) 2222

あ と が き

議会の委員会構成が変わり、初心を思い出してのスタートとなりました。議会活動をより活性化させるために、常任委員会の充実を確認し、議会報告会等で出たご意見をこれまで以上に検討するようにします。

今後協議するにあたっては、関連する課を複数来てもらい、よりよい提案をしたいと思います。「各課の連携を」と言うだけでなく、そういった場を設けることが必要だと思います。活性化する議会にも注目してください。

議会だより編集委員も三年目に入りました。専門用語等の注釈などを入れていきたいと思えます。ご意見・ご感想等をお寄せください。

- | | |
|------|--------|
| 議長 | 岡本 和廣 |
| 副委員長 | 前住 孝行 |
| 委員 | 中村 敏明 |
| 委員 | 奈羅尾 寿夫 |
| 委員 | 山本 晴隆 |